



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 12. 20

3, 4年生用 No.69



親からの自立とこれからの生き方は？

先日私の父親が 88 歳で永眠しました。これを機会にあらためて、親や生きることについて色々考えさせられています。皆さんの多くにとっては当然のことながらまだ親の死ということは全く意識していないと思います。しかし親はいつまでも元気であるわけではありません。いつかは死別ということがあります。

皆さんにとって親は何となく煙たい存在に感ずる年頃かもしれません。「親」という字を分解してみると「木」が「立つ」を「見る」と読めます。つまり**我が子が立派に独り立ちしていくのをじっと見守り手助けするのが親**ということでしょう。皆さんが産まれた当初はどんなにか我が子の誕生を喜んだかしれません。そしてかわいくてかわいくて仕方が無く、親は丹誠込めて皆さんを育ててきたはずで、皆さんは、今になれば自分一人で成長してきたように感ずるかもしれませんが、親の庇護があったからこそ今日があることをもう一度かみしめて欲しいものです。そして親への感謝の気持ちを忘れないで欲しいものです。

そしていよいよ高校を巣立つ時を目前にしています。多くの人はいよいよ自ら自活の道を歩み始めます。早い人は結婚し自らが親になっていく人もあるかもしれません。もはや**いつまでも親の庇護にすがりついているわけにはいかなくなります**。勿論まだまだ親に頼らなくてはならない面はありますが、少しずつ親離れをして行かなくてはならないのです。是非**高校卒業を機に如何に自律していくかの覚悟を少しずつ付けて**欲しいものです。

また人生は長いようで過ぎてしまうとあっという間です。皆さんがこれからの人生をどう生き、どんな生き方をするのか、それは皆さん自身のこれからの心がけ次第です。日々過ぎるに任せて時を無駄にすることのないように、新しい人生の節目の時を迎えつつある今、**これからの自分の人生をどうしたいのか考えて**欲しいものです。

就職支援員の方に感謝を！



今年の就職戦線の厳しさは皆さんも身にしみていることと思います。ましてまだ就職の決まらない人が 25 人います。この時期にこの数はこれまでに比べて異常な高さです。

この厳しい現実の中でこれまで進路が決まった人は、**就職支援をして頂いた川村治美さんと征矢紫郎さんと12月から応援頂いている中村廣さんのおかげであった**ことを是非かみしめて欲しいものです。毎日何社も、北から南までかけずり回り企業開拓をして頂いたおかげです。十月以降求人がびたりと止まってしまった中、必死で企業回りをし求人をお願いして頂いたおかげで 20 人近い人の進路が決まりました。7 月から 12 月までご支援頂いた川村さんと征矢さんがいよいよここで任期切れとなりました。お二人には心より御礼を申し上げたいと思います。

なお中村さんには引き続き 2 月末までお願いすることになっています。結果待ちの生徒もいますので実質的には十人程度の未定者数ではありますが、何とか残った人全員の進路が決まるよう今後は中村さんのお力をお借りしつつ応援していきたいと思えます。

すでに進路が決まった人は自分の力だけで決まったわけではなく、こうした**支援員さんの陰の大きなお力添えのおかげであったことを肝に銘じて**欲しいものです。